

阪大箕面の東南アジア学セミナー 2025高校生探究成果発表会

「東南アジアと戦後80年」

日時：2025年7月26日（土）10:00~12:00

場所：大阪大学箕面キャンパス 1F大講義室

〒562-8678箕面市船場東3-5-10

<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/access/top>

10:00~12:00 高校生発表
(10分発表 10分コメント)

- 10:05~10:25 インドネシア
「歴史教科書に書かれた日本占領期」
 - 10:25~10:45 フィリピン
「記憶の想起と忘却：マニラ市街戦」
 - 10:45~11:05 タイ
「戦前～戦中期の同時代資料『暹羅協会々報』を読む」
 - 11:05~11:25 ビルマ
「泰緬鉄道の記憶と記録」
 - 11:25~11:45 ベトナム
「ベトナム残留日本兵」
 - 11:45~ 全体講評 参加賞授与
 - 12:00~13:00 休憩
- @ 5F学生交流スペース



締め切り：7月24日17:00

登録フォーム（対面）

<https://forms.gle/37L1Q76QBrUyvySA>

- 主催：大阪大学外国語学部東南アジア5専攻
- 連絡先：m-sea-seeds@ml.office.osaka-u.ac.jp
(インドネシア語、フィリピン語、タイ語、ベトナム語、ビルマ語)
- 共催：東南アジア学会（教育・社会連携、関西例会）

日本占領期の記録と記憶

東南アジアと戦後80年



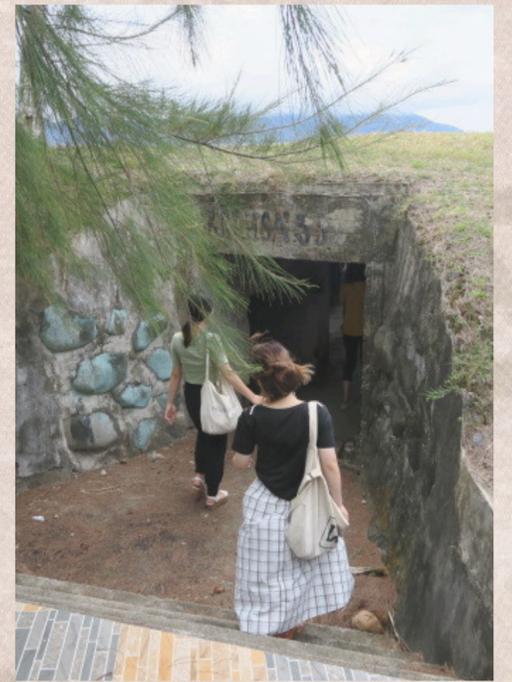
今年（2025年）は第二次世界大戦終結後80年となりますが、近年、戦争経験を持つ世代が数少なくなり、東南アジアの日本占領もかつてほど研究テーマとして取り上げられなくなってきています。では、東南アジア各国は現在の東南アジア各国建国の契機となった「あの戦争」をどのように記憶する（または記憶しない）選択をしたのでしょうか。本イベントは80年という時間の経過のなかで彼らが作り上げた「歴史」とはどのようなものであるかを議論する場としたいと考えています。

日時：2025年7月26日（土）13:00~17:00

場所：大阪大学箕面キャンパス 1F大講義室 〒562-8678箕面市船場東3-5-10
北大阪急行線箕面船場阪大前駅 下車徒歩約3分
<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/access/top>

- 12:30 開場（対面を重視したハイフレックス形式）
- 13:00~13:05 趣旨
- 13:10~14:00 柿崎一郎（横浜市立大学国際教養学部）
「タイの第2次世界大戦観—不平等な同盟関係—」
- 14:05~14:55 岡田泰平（東京大学大学院総合文化研究科）
「戦争の実相と記憶：「宙ぶらりんの関係」が持つ意義」
- 15:10~16:00 池田一人（大阪大学大学院文学研究科）
「泰緬鉄道の記憶と記録：ビルマ人の場合」
- 16:05~16:55 師田史子（京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科）
「自らの土地に注ぎ込む、「あの戦争」の記憶」

★午前中（10:00~12:00）は、「阪大箕面の東南アジア学セミナー2025：東南アジアと戦後80年」の高校生による成果発表がおこなわれます。



締め切り：7月24日 17:00



対面参加申込 ←
オンライン参加申込 ←